

2013年5月8日
東日本旅客鉄道株式会社

東 北 エ モ ー シ ョ ン 「Tohoku Emotion」

～デザイン、食、アート、景色を楽しむ新しい列車に新たなメンバーが加わります～

JR東日本では、東北エリアへのご旅行を活性化することを通じて、復興支援と地域の活性化に取り組んでいます。その一環として乗ること自体が目的となる新しい列車「Tohoku Emotion」を本年秋以降に八戸線で運転予定です。

「Tohoku Emotion」には、デザイン、食、アート、景色など様々な魅力がありますが、このたびメインコンテンツである「食」について、メニューを監修していただけるシェフが決まりましたので、お知らせします。

また列車内空間の重要な要素であるインテリアデザインについて、新たなイメージが出来上がりましたので、お知らせいたします。

東北の旅に新たな魅力をお届けする「Tohoku Emotion」に、どうぞご期待ください。

1. メニューを監修していただくシェフについて 詳細は別紙1をご覧ください

「Tohoku Emotion」のメインコンテンツとなる「食」については、今回、以下の2名のシェフにメニューを監修していただくこととなりました。シェフの感性と地元・地域の食材の融合が生み出す、新しい東北の「食」にどうぞご期待ください。

はらだ しんじ
原田 慎次 (東京・銀座 「アロマフレスカ」オーナーシェフ)
いとう かつやす
伊藤 勝康 (岩手県奥州市 「ロレオール」オーナーシェフ)

(敬称略)

なお、当初の半年を原田シェフ、次の半年を伊藤シェフに監修していただく予定です。また季節に合わせたメニューの変更も予定していますので、1度だけでなく2度、3度ご乗車いただいてもお楽しみいただけます。

2 . 列車内空間について

詳細は別紙2をご覧ください

「Tohoku Emotion」のもう一つの重要な要素である列車内空間について、鄭 秀和氏（インテンショナルリーズ）による、インテリアデザインのイメージを合わせてお知らせします。

なお空間デザインには、岩手県久慈の「琥珀」や青森県の「こぎん刺し」のほか、東北地方に広がる様々な伝統や技術・素材をモチーフとして採り入れる予定です。

3 . 専用HPのオープンについて

今回のリリースに合わせ、「Tohoku Emotion」の世界観を感じていただける専用HPをオープンいたします。秋以降の運転開始に向け、今後様々な情報を掲載して参りますので、ご期待ください。

HPアドレス : <http://www.jreast.co.jp/tohokuemotion/>

サイトオープン : 2013年5月8日

4 . 車内の「アート」を担当するアーティストについて

「Tohoku Emotion」は食だけでなく「アート」についても、新しい東北を発見・体験していただけることにこだわりました。今回、車内で旅行気分を盛り上げるBGMやメディアアートをご担当いただけるアーティストが決まりましたのでお知らせします。

ミュージックディレクション	はんざわ 半沢	たけし 武志
メディアアート	たかはし 高橋	きょうた 匡太

(敬称略)

原田 慎次氏

profile

1969年栃木県生まれ。1988年より六本木「チーノ」にて修行を開始。
1994年、青山「ジリオラ」のシェフに。退職し、1998年に同僚であった田沢浩氏とともに広尾に「リストランテ アロマフレスカ」をオープン。
2001年には西新宿に「カフェ アロマティカ」を、
2005年には麻布に「カーザ・ヴィニタリア」をオープン。
同年、「アロマフレスカ」を麻布に移転。
2010年には銀座に移転し、同時に気軽に来られるサロンのな場として「サーラ・アマービレ」を併設した。
「アロマフレスカ」は2008年から連続してミシュランで星を獲得しているが今も、独立以来料理に通底している「素材に対して最短距離に調理する（ア・ラ・ミニッツ）」という考えに近づいた料理を目指し続けている。



伊藤 勝康氏

profile

1963年千葉県生まれ。東京のレストランに13年間勤務した後、1995年に妻の出身地である岩手県前沢に移住し、「牛の博物館」に併設するレストラン店長兼シェフに就任。
2000年より出張料理を始め、県内外で料理と食にかかわる商品開発に携わる。
同年より「ロレオール丘」（現ロレオール）のオーナーシェフに。地元食材を使ったフランス料理の提供と並行し、「前沢牛コロッケ」の開発・販売、南部鉄器のPRなど、地域の活性化に寄与。
2009年、レストラン名を「ロレオール」と改める。
岩手の地に根ざし、食を通じて生産者の生活向上や地域の活性化に貢献。東日本大震災以降、被災地での炊き出しを行った。
2011年農林水産省「料理マスターズ」受賞。

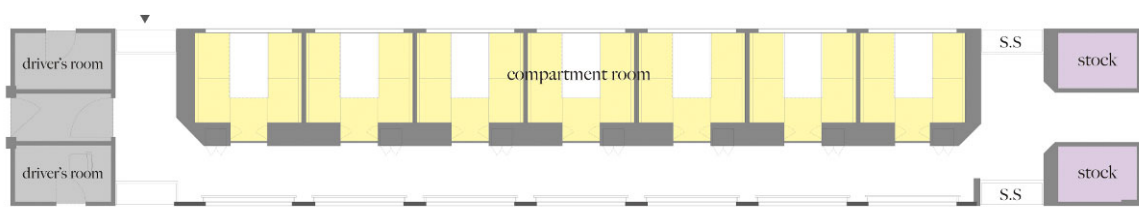


1号車：コンパートメント個室車両

1号車は7室のコンパートメント個室席とし、壁面ファブリックは「刺子織」(福島)をモチーフ⁽¹⁾とした意匠とする予定です。



イメージ：コンパートメント個室席 現在検討中のイメージイラストであり、実際のものとは異なります。



1号車レイアウトイメージ

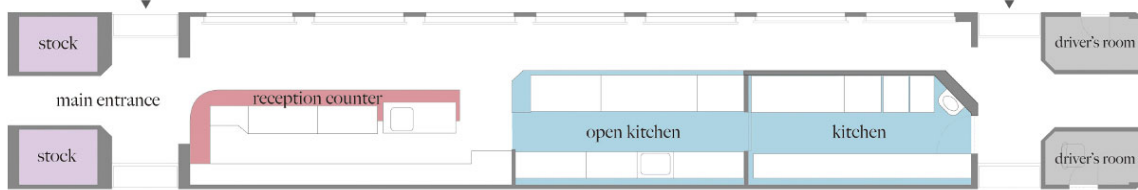
注釈(1) モチーフ：素材はすべて意匠のモチーフであり、必ずしも素材そのものを使用するものではありません。

2号車：ライブキッチンスペース車両

2号車はライブキッチンスペースとし、キッチン背面は「こぎん刺し」(青森) カウンター壁面は「南部鉄」(岩手)や「南部姫鞠」(青森)をモチーフ⁽¹⁾とした意匠とする予定です。



イメージ：ライブキッチンスペース 現在検討中のイメージイラストであり、実際のものとは異なります。



2号車レイアウトイメージ

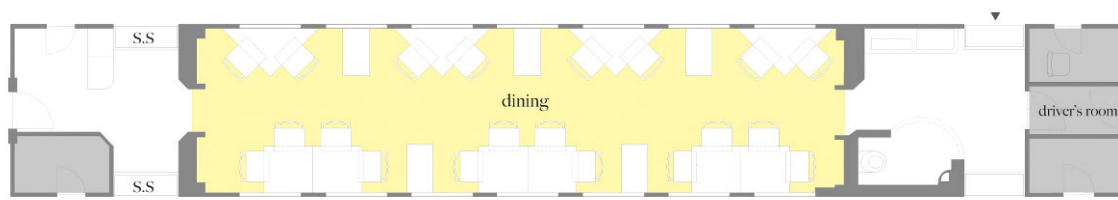
注釈(1) モチーフ：素材はすべて意匠のモチーフであり、必ずしも素材そのものを使用するものではありません。

3号車：オープンダイニング車両

3号車はオープンダイニングスペースとし、床は「こぎん刺し」(青森)、照明は「琥珀」(岩手)、
什器の仕上げ材は「雄勝硯」(宮城)をモチーフ⁽¹⁾とした意匠とする予定です。



イメージ：オープンダイニング席 現在検討中のイメージイラストであり、実際のものとは異なります。



3号車レイアウトイメージ

注釈(1) モチーフ：素材はすべて意匠のモチーフであり、必ずしも素材そのものを使用するものではありません。